

第 32 回大会企画 公開ランチトーク

2011 年 6 月 12 日（日）12:10-12:55

共通講義棟 2 号館 102 教室

東日本大震災の緊急現状報告 —今、私たちに何ができるか—

●演者

小田隆史（お茶の水女子大学・日本学術振興会特別研究員 PD）

●講演要旨

報告者は、東日本大震災の被災地である福島県いわき市に育ち、昨年大学院を修了するまで長く宮城県仙台市で最近まで過ごしました。また、ここ十年ほど、宮城県気仙沼市で実施されてきた日米教育交流事業や ESD 推進事業の支援者として関わってきました。震災後、報告者は相次いで被災した自治体を訪れております。東北の「被災地」の以前の姿、そして現在を知る立場から、まず、震災後の自治体の対応や復興にかかるボランティア活動に関する情報提供を行うとともに、今後、多言語放送・電子掲示板などによる外国人への情報発信、多言語・多文化に配慮した被災者へのケア、二次災害防止対策への支援など、多様な専門領域が横断的にどのように復興や防災に寄与するのか、会員の皆様と考え意見交換の場にしたいと思います。

●略歴

福島県いわき市出身。米国ミネソタ州のマカレスト大学に留学。宮城教育大学教育学部国際文化専攻卒業後、東北大学大学院理学研究科地学専攻修了。地理学分野にて、北米の移民・難民コミュニティに対する支援について研究。2005 年より外務省専門調査員として在サンフランシスコ日本国総領事館に赴任し、在米エスニック・コミュニティ情勢の調査と関係強化外交に従事。東北大学大学院に復学し、2008 年にはカリフォルニア大学バークレー校フルブライト奨学生として博士研究留学。2010 年、東北大学大学院博士課程修了・博士（環境科学）。2010 年 4 月より、お茶の水女子大学地理学教室にて、日本学術振興会特別研究員 PD／文教育学部非常勤講師（「地域研究実習」、「社会地理学」担当）。